



# 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2023年8月10日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役コーポレート担当 (氏名) 吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,875	30.3	910	310.1	921	347.2	895	365.2
2023年3月期第1四半期	7,577	59.7	221	—	206	—	192	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 901百万円 (363.0%) 2023年3月期第1四半期 194百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	58.63	—
2023年3月期第1四半期	12.62	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	91,038	5,255	5.8
2023年3月期	74,798	4,354	5.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 5,258百万円 2023年3月期 4,351百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2024年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定としています。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	0.7	1,200	46.3	1,000	66.5	900	△36.4	58.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	15,358,813株	2023年3月期	15,358,813株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	92,060株	2023年3月期	90,969株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	15,266,824株	2023年3月期1Q	15,250,075株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている役員株式給付信託（BBT）が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症が、季節性インフルエンザと同等の分類に引き下げられて以降、経済活動の正常化が一段と進んでいます。各種物価の高騰継続、為替変動による影響などは注視すべきものの、景気には持ち直しの動きが見られています。特に当社が事業基盤とする国内レジャー・集客エンタテインメント市場においては、集客制限の撤廃に伴い、ライブ・イベント開催の動きが活発化しており、明らかに復調に転じています。また、これまで抑制されてきたエンタメ活動への反動消費もあり、興行規模の拡大、チケット単価の上昇等により、市場全体が堅調な推移を見せています。

こうした経営環境下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、人気アーティストの全国ツアーや来日公演、大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件の発売が集中し、特にインターネット経由でのチケット販売が好調に推移した結果、取扱高ベースでの売上は650億円規模となり、四半期単位では過去最高の水準となりました。出版商品や主催事業、ぴあアリーナMMの稼働率が堅調だったことも伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全てにおいて、過去最高益を達成しております。さらに、営業キャッシュ・フローも着実に好転しており、現預金残高も347億円を超える水準となっております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間は、売上高98億75百万円(前年同四半期は売上高75億77百万円)、営業利益9億10百万円(前年同四半期は営業利益2億21百万円)、経常利益9億21百万円(前年同四半期は経常利益2億6百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益8億95百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億92百万円)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

- ・「プロ野球公式戦」「サッカーJリーグ」
- ・「リポビタンDチャレンジカップ」
- ・「FCバイエルン・ミュンヘン対マンチェスター・シティFC Audi Football Summit」
- ・「横浜F・マリノス対マンチェスター・シティFC 明治安田Jリーグワールドチャレンジ2023」
- ・「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」「ap bank fes」
- ・「COLDPLAY」
- ・「J01」「KCON JAPAN 2023」
- ・「B'z」「松任谷由実」
- ・「Mrs. GREEN APPLE」
- ・「シルク・ドゥ・ソレイユ/アレグリア」「ディズニー・オン・アイス」

<商品>

- ・「大谷翔平語録」
- ・「森のカフェと緑のレストラン」

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、910億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して162億40百万円増加いたしました。流動資産は677億57百万円(前連結会計年度末比163億97百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同84億15百万円)と売掛金の増加(同69億69百万円)であります。また、固定資産は232億80百万円(前連結会計年度末比1億57百万円減)となりました。変動の主なものは、無形固定資産の減少(同1億13百万円)であります。

負債は、857億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して153億39百万円増加いたしました。流動負債は655億40百万円(前連結会計年度末比91億6百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同153億20百万円)と1年内返済予定の長期借入金の減少(同80億50百万円)であります。また、固定負債は202億42百万円(前連結会計年度末比62億32百万円増)となりました。変動の主なものは、長期借入金の増加(同62億21百万円)であります。

純資産は、52億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が8億95百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、新たな中期経営計画(2023年度～2025年度)の初年度として、基幹事業群(チケット流通を中核としたバリューチェーン事業)は前述の通り堅調に推移しておりますが、新規事業群(ホスピタリティ事業他)においては初期投資段階にあり、新規案件の受託や各取引先との提携を通じた準備過程にあります。また、反動消費の揺戻し、大阪・関西万博の券売に伴う諸費用の発生が見込まれることなどから、現時点で通期の業績数値を見通し難いため、2023年5月11日に公表しました予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,356	34,771
売掛金	21,612	28,582
棚卸資産	77	55
その他	3,328	4,368
貸倒引当金	△14	△19
流動資産合計	51,360	67,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,558	11,376
工具、器具及び備品(純額)	365	433
土地	724	724
その他(純額)	11	25
有形固定資産合計	12,660	12,559
無形固定資産		
ソフトウェア	4,370	4,214
ソフトウェア仮勘定	1,695	1,738
その他	77	77
無形固定資産合計	6,143	6,029
投資その他の資産		
投資有価証券	1,587	1,633
その他	3,406	3,417
貸倒引当金	△359	△359
投資その他の資産合計	4,634	4,690
固定資産合計	23,438	23,280
資産合計	74,798	91,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	40,369	55,690
1年内返済予定の長期借入金	9,065	1,015
未払金	2,375	2,243
未払法人税等	99	59
賞与引当金	212	8
その他	4,311	6,523
流動負債合計	56,434	65,540
固定負債		
長期借入金	12,159	18,381
株式給付引当金	213	216
退職給付に係る負債	59	65
資産除去債務	1,281	1,283
その他	294	295
固定負債合計	14,009	20,242
負債合計	70,443	85,783
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,962	5,962
資本剰余金	2,128	2,128
利益剰余金	△3,583	△2,688
自己株式	△166	△166
株主資本合計	4,340	5,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	25
為替換算調整勘定	△36	△35
退職給付に係る調整累計額	33	32
その他の包括利益累計額合計	10	22
非支配株主持分	3	△2
純資産合計	4,354	5,255
負債純資産合計	74,798	91,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	7,577	9,875
売上原価	4,786	6,006
売上総利益	2,790	3,868
販売費及び一般管理費	2,568	2,958
営業利益	221	910
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	3
持分法による投資利益	13	31
諸債務整理益	12	2
助成金収入	30	29
その他	2	1
営業外収益合計	61	67
営業外費用		
支払利息	72	45
その他	4	10
営業外費用合計	77	56
経常利益	206	921
税金等調整前四半期純利益	206	921
法人税等	13	32
四半期純利益	192	888
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	192	895

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	192	888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	12
退職給付に係る調整額	△1	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	4	0
その他の包括利益合計	2	12
四半期包括利益	194	901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194	907
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）  
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。
- II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）  
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式給付信託（BBT及びBBT-RS）への追加拠出に伴う第三者割当による新株式発行)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、第三者割当による新株式発行（以下「本新株式発行」といいます。）を行うことについて決議いたしました。

1. 発行の概要

- (1) 払込期日：2023年8月31日（木）
- (2) 発行する株式の種類及び数：普通株式 262,500株
- (3) 発行価額：1株につき金 3,415円
- (4) 発行総額：896,437,500円
- (5) 資本組入額：448,218,750円
- (6) 割当予定先：株式会社日本カストディ銀行（信託E口）
- (7) その他：本新株式発行については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とします。

2. 発行の目的及び理由

当社は、2016年6月18日開催の定時株主総会及び2021年6月19日開催の定時株主総会の決議に基づき、「株式給付信託（BBT）」（以下「BBT制度」といいます。）を導入しており、2023年6月17日開催の定時株主総会の決議に基づき、BBT制度に上乘せして、「株式給付信託（BBT-RS）」（BBT制度とあわせて「本制度」といいます。）を導入しております。

今般、当社は、本制度の継続に当たり、将来の給付に必要と見込まれる株式を、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結した信託契約に基づいて設定されている信託（以下「本信託」といいます。）が取得するため、本信託に対する金銭の追加拠出を行うこと、並びに本制度の運営に当たって当社株式の保有及び処分を行うため株式会社日本カストディ銀行（本信託の受託者たるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた再信託受託者）に設定されている信託E口に対し、本新株式発行を行うことを決定いたしました。